

登録コード	E9111300	開講年度	2026					
授業科目	心理支援演習ⅡA						担当教員	島田 英昭
英文授業名	Advanced Seminar in Psychology II						副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	教育心理学・心理支援に関する基礎的・応用的な知識を得ることで、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	教育心理学・心理支援に関する基礎的・応用的な知識を得ることで、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	教育心理学に関する研究手法の解説と研究計画の発表を行い、議論を通して理解を深める。							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：学術論文の書き方（方法） 第3回：学術論文の書き方（結果） 第4回：学術論文の書き方（問題と目的） 第5回：学術論文の書き方（考察） 第6回：分析手法の吟味（記述統計） 第7回：分析手法の吟味（統計的仮説検定） 第8回：分析手法の吟味（効果量とメタ分析） 第9回：分析手法の吟味（多変量解析） 第10回：分析手法の吟味（質的手法） 第11回：プレゼンテーションのしかた（組み立て方） 第12回：プレゼンテーションのしかた（問題と目的） 第13回：プレゼンテーションのしかた（方法と結果） 第14回：プレゼンテーションのしかた（考察） ※受講者の研究計画と興味に応じ、内容を変更することがある。 ※授業アンケートを実施する。							
(6)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 発表（50%）、議論への参加（50%） ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ※教育心理学・心理支援に関する基礎的・応用的な知識を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	【卓越している】教育心理学・心理支援に関する基礎的・応用的な知識について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】教育心理学・心理支援に関する基礎的・応用的な知識について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】教育心理学・心理支援に関する基礎的・応用的な知識について、高い水準にある。 【その水準にある】教育心理学・心理支援に関する基礎的・応用的な知識について、一定水準にある。							
(8)事前事後学習の内容	●研究に対する情報を収集する。 ●研究に対する自らのアイデアや実験・調査結果をまとめる。 ●授業内容について、振り返りを行う。 ●授業内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。							
(9)履修上の注意	●心理支援教育コースの受講を指定された学生に限る。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室在室時は随時質問、相談可能です。メールでアポイントメントを取ると確実です。 連絡先：hshimada@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	指定しない。							
【参考文献】	内容に応じて随時紹介する。							